

Part 24 糸魚川から^{おうみ}青海まで

2013 年 4 月 3 日(水) 曇・小雨

五万図 糸魚川

4 年ぶりの徒路巡礼。朝 7 時に成城を出るはずが、大雨のためいきなり 9 時に延期。それでも 13 時には糸魚川に着く。途中、越後湯沢では雪がかなり積もっている。北北線で直江津まで来ると雪なし。特急「はくたか」。糸魚川では曇っている。駅は新幹線の工事中で 4 年前に来たときと大きく変わっている。GPS ロガーとボイスレコーダの電源を入れる。13 時歩き始める。駅を出てすぐに左折、西行。北陸道新道か？右手に良寛詩碑がある。さすが新潟県。「一衣一鉢」の詩。やがて塩の道に出会う。4 年前に妻と来たところだ。塩の道を右折。北陸道旧道に出る。福祿寿尊がある。合掌。糸魚川町道路元標がある。なつかしい。元標をなでる。ここから新しい歩みとなる。旧道左折。西行。左手に今日の宿、ルートイン糸魚川がある。荷物を預けるまでもないので、寄らずに直行。国道 8 号線を渡り姫川港に出る。セメントのサイロというのだろうか、巨大な円筒形の建物がある。デンカセメント、アサノセメントとはなつかしい。太平洋セメントの船も停泊している。姫川港をコの字に迂回し、姫川橋を西渡。雪解け水と今朝の大雨のためか茶色い激流である。河口の先、日本海まで茶色くにごっている。西風が少し強く霧雨も降っているが寒くはない。上流の山には雪がついている。明日の^{あけろ}上路が心配になる。姫川の土手には桜並木があるが、まだ咲いていない。やはりだいぶ遅いようだ。

須沢という部落に入る。諏訪社春季祭礼という須沢区長名のポスターがある。ここまでも諏訪大社の影響が及んでいるのか。やがて^{とうみ}田海川を西渡する。「田海橋は全面通行止」と看板があったが、歩行者は渡れる。ここも車社会で「歩行者通行可」とは示す必要がないのであろう。このあたりから雨が少し本降りになり傘を出す。雨の中、郵便を出しに行くおばさんに会う。「青海駅はこちらですか」ときくと「まっすぐだよ」と教えてくれる。やがて青海町の官庁街に出る。青海総合文化会館というのがあり、雨宿りを兼ねて入る。中に「青海自然誌博物館」があり、見学することにする。青海のヒスイの展示や石灰石の展示が充実している。日本のヒスイは、北海道、青海、静岡、島根、長崎から出るそうだ。出雲大社のヒスイ玉は当然島根だろう。三内丸山のものは北海道だろうか、それとも青海だろうか。縄文ヒスイの流通については研究されているとは思いますが、残念ながら展示にはなかった。石灰石の展示も面白い。親父と一緒に来たならば、色々説明してくれただろうにと思う。ここから駅に出る。妻に「青海駅着」とメールする。ホームに下りるとベンチがなく、大きな金属の箱があったので、これに座して 15 時 27 分の電車を待つ。明日予定している青海川の上流は西風に運ばれてきた霧で霞んでいる。

距離：7.4km、上り：23m、下り：17m、標準時間：1 時間 52 分

成城駅(9:10)⇒糸魚川駅(13:00)→糸魚川町道路元標(13:10)→姫川港(13:30)→姫川橋(13:40)
→田海橋(14:11)→青海総合文化会館(14:27/15:06)→青海駅(15:13/15:27)⇒糸魚川駅(15:33)